

～第6回 チーム 新・湯治セミナー～

チーム 新・湯治

現代人の生活に“寄り添う温泉”とは
～健康の維持・増進の観点から温泉地の可能性を考える～

都会で働く現代人の知的リフレッシュにも応える
温泉地のあり方
～Withコロナ時代を見据えて～

株式会社ベーシック 代表取締役

学校法人 先端教育機構 社会情報大学院大学 先端教育研究所

客員教授 田原祐子

令和2年8月26日

自己紹介

1. 2018年度 「新・湯治」コンテンツ開発調査

○温泉地における、テレワーク（ワーケーション・オフサイトミーティング）実施の可能性

○コロナ禍により、テレワークの導入企業が急増 ⇒大きな変化！

2. 2019年度 コンテンツモデル調査

『温泉地×BusinessWoman&オープンイノベーション』

○新たな温泉地の活用効果

3. 都会で働く現代人の知的リフレッシュにも応える温泉地のあり方

～Withコロナ時代を見据えて～

自己紹介 田原祐子 (たはらゆうこ)

株式会社ベーシック (Consulting) 代表取締役
社会情報大学院大学 客員教授 (KnowledgeManagement、人材育成)
日本ナレッジ・マネジメント学会理事・上場企業社外取締役・監査等委員
一般社団法人 フレームワーク普及促進協会 代表理事 etc

チーム 新・湯治

チーム員

年間300日の全都道府県への出張が10年以上続く
(1998年～2010年)



全国100カ所以上の温泉に入って、健康を取り戻し、体調を整えた

○これまでの経緯のご説明

チーム 新・湯治の発足

～全国温泉地サミット参加のため、大分へ！

新・湯治とは？

多くの人が「好き」と答える温泉。ただ、今の日本は、その本当の魅力に触れていないのではないのでしょうか？ 温泉地には、温泉だけでなく多様な自然、歴史・文化、食など様々な魅力が詰まっています。新・湯治とは、平成29年7月に有識者会議により提言された、現代のライフスタイルにあった温泉地の過ごし方の提案です。新・湯治は、多くの人が温泉地で地域資源を楽しみ、滞在を通じて心身がリフレッシュされ、そして温泉地を多くの人が訪れることで、温泉地のにぎわいを生み出していくことを目指しています。

新・湯治 🔍 で検索

古くからの温泉地に長期滞在し、入浴して病気を治療する「湯治」

団体旅行としての温泉地の発展
療養や保養の場としての衰退

元気になれる温泉地での様々な過ごし方



20年以上の企業研修の経験から

温泉地での企業研修・オフサイト
ミーティング・テレワーク・
ワーケーション等に、

無限の可能性があると感じて参加！



2018年度「新・湯治」コンテンツ開発調査

(都会で働く現代人の知的リフレッシュ)



温泉を知的リフレッシュ、生産性向上
というポイントから見れば、素晴らしい資源



『知的創造』 『発想の転換』 『転地療養』

株式会社 ベーシック

チーム 新・湯治。 チーム員 1998年設立
(今年で設立 22 年)



株式会社ベーシック
代表取締役 田原 祐子

サンヨーホームズ株式会社
社外取締役 監査等委員
兼松株式会社 社外取締役

事業概要

- 企業研修・生産性向上・働き方改革・キャリア開発・人材育成全般のコンサルティング (論文表彰)
- 営業力強化・接客対応・実績向上のためのしくみづくりコンサルティング
- 温泉地・地域活性化のための、官民連携スキーム構築サポート・コンサルティング
- テレワーク導入・オフサイトミーティング・温泉地&保養所における、企業研修・ワークショップ立案サポート
- マニュアル&ガイドライン作成・システム構築 ⇒誰でも、すぐに取り組める、しくみづくり
- ナレッジマネジメント・暗黙知の形式知化、ベテラン社員・できる社員のノウハウの可視化・共有化
- 新規事業の企画立案・立上げ・推進・普及拡大サポート

受賞・表彰・審査員など

【資格】

国際公認経営コンサルティング協議会 (ICMCI世界46カ国が加盟する協議会) 認定コンサルタント
全日本能率連盟認定マスター・マネジメント・コンサルタント
国家資格キャリアコンサルタント、GCDF-Japan キャリアカウンセラー (米国CCE, Inc.)
介護離職防止アドバイザー (他、アロマオイル、メンタルケア等の認定書取得)
都市経営プロフェッショナルスクール (官民連携プロフェッショナルスクール) 終了

【理事・会員など】

一般社団法人フレームワーク普及促進協会代表理事
日本ナレッジ・マネジメント学会理事 (AI、ダイバーシティ、多様性、新産業革命研究部会長)
一般社団法人取締役協会会員、公益社団法人監査役協会会員
日本経営システム学会正会員、人工知能学会正会員、ビジネスモデル学会正会員
一般社団法人 全国住宅産業協会賛助会員、一般社団法人日本テレワーク協会賛助会員
慶応義塾大学湘南藤沢キャンパス 環境情報学部 教授 武藤佳恭研究室 研究員

実績 (講演・コンサルティング・プロジェクト・システム開発など)

環境省、経済産業省、特許庁、国土交通省、内閣府、日本郵便、東海総研
パナソニック、日立、三菱電機、積水ハウス、セキスイハイム、大和ハウス工業、住友林業、パナホーム、
三井ホーム野村不動産、LIXIL、TOTO、ダイキン工業、YKKAP、大建工業、コスモスイニシア
東京都不動産協会、三井住友海上火災保険、あいおいニッセイ同和損保、ル・クルーゼ ジャパン、出光興産
ミレー・ジャパン、ふらここ、東京電力、関西電力、中部電力、北海道電力、東北電力、北陸電力、中国電力、四国電力、九州電力、沖縄電力
コンサルティングファーム、病院、介護施設、学校、幼稚園、住宅FC、ビルダー、リフォーム会社、不動産建設関連会社、マンション販売会社、
ゼネコン、設備販社、商社、卸社、人材派遣会社、大手広告代理店、他多数

第67回 全国能率大会 優秀論文(全日本能率連盟賞受賞)
「フレームワークモジュール」を活用した、本道の意味の「働き方改革」
～業績向上・時間短縮・人材育成・組織開発・ナレッジ共有化のためのアプローチ～

第68回 全国能率大会 優秀論文(全日本能率連盟賞受賞)
「フレームワークモジュール」モデルを活用した、一億総活躍社会実現、
グローバル化&AI時代の業務革新およびナレッジ蓄積型人材育成マネジメントシステム



第67回
全日本能率連盟賞受賞

第68回
全日本能率連盟賞受賞

著書



自己紹介

1. 2018年 「新・湯治」コンテンツ開発調査

○温泉地における、テレワーク（ワーケーション・オフサイトミーティング）実施の可能性

○コロナ禍により、テレワークの導入企業が急増 ⇒大きな変化！

2. 2019年度 コンテンツモデル調査

『温泉地×BusinessWoman&オープンイノベーション』

○新たな温泉地

3. 都会で働く現代人の知的リフレッシュにも応える温泉地のあり方

～Withコロナ時代を見据えて～

～第3回 チーム新・湯治セミナー～

チーム 新・湯治 

温泉地×企業で、 新しいスタイルの滞在を創出する

2018年「新・湯治」コンテンツ開発調査

温泉地における、テレワーク（ワーケーション・オフサイトミーティング）実施の可能性

1.温泉地で『時間や空間にとらわれない、新しい働き方』に関する、企業および温泉地の動向

[調査報告]

2. 各社の取り組み状況発表

事例1. 温泉地を第2のオフィスに～南紀白浜温泉の事例から

事例2. 温泉地でワーケーション、オフサイトミーティングを実施した企業の事例

事例3. 「働き方改革」と温泉地でリフレッシュ効果について

平成31年3月6日（水）

1、温泉地と企業、それぞれの課題を解決するために

チーム 新・湯治 

○温泉地の抱える課題

- ①土日祝日に宿泊客・観光客が集中しがち
- ②年間を通じて、繁忙期と閑散期の差が激しい
- ③団体客の減少
- ④天災の影響等
- ⑤従来型の『湯治』の減少

○企業の抱える課題

- ①『働き方改革』『生産性向上』の推進
- ②『健康経営』の推進と、ストレスケア、メンタル予防
- ③都心の会議室、宿泊施設(合宿)の予約が難しい
- ④2020年オリンピックに向け、テレワークの推進
- ⑤台風、大雨、大雪による、通勤障害



→ 観光だけに頼らない、新しい湯治スタイルのあり方×企業との連携

チーム 新・湯治  の意義

2、温泉地での新しいスタイルの滞在のご提案

チーム 新・湯治[®]



→ 『温泉地の活性化』・『課題解決』にも繋がる、

新しい湯治スタイルのあり方×企業との連携

チーム 新・湯治[®]の意義

1、オフサイトミーティング…オフィス以外の場所で会議（研修）をすること

“現場を離れた場所で（off-site）”行われる会議（研修）、IT開発合宿も含む

2、テレワーク…情報通信技術(ICT)を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方

「tele = 離れた所」と「work = 働く」をあわせた造語

3、ワーケーション…半分働き、半分休み

Work（働く）×Vacation（休暇）の造語

4、サテライトオフィス…企業本社から離れた所に設置されたオフィスのこと

惑星を周回する衛星のように存在するオフィスとの意から命名

5、コワーキングスペース…共有型のオープンなオフィススペース

コワーキング（Coworking）事務所、会議室、打合せ場所など共有した、共働ワークスタイル

* 温泉地でのヒアリング

行政
観光協会、DMO
温泉組合
旅館・ホテル

* 企業へのヒアリング

三菱地所
NECソリューションイノベータ
日本航空
ジャパンフritレー
セールスフォース
クオリティソフト
JTB

湯村温泉
長湯温泉

熱海温泉

南紀白浜温泉



4、調査報告 熱海温泉【温泉旅館】三平荘

IT開発合宿

チーム 新・湯治

【三平荘】（熱海市）

○特徴…老舗高級旅館、伝統的な旅館形式 ○部屋数…12室

○稼働率…土日・連休 ほぼ100%、平日は50%前後

○企業と個人客との割合… 企業30%、個人70%

○企業の利用状況… 月に会議が3-4回



○IT開発合宿の状況

日程…1泊2日、 参加人数…17-18人

<1日目> チェックイン後、昼から夕方まで会議→18時に夕食→夜また会議

<2日目> 8時に朝食→9時から12時まで会議→チェックアウト

○企業との連携への期待・課題

- ・安定的な旅館経営のためにも、企業との連携を受け入れていきたい
- ・若者は宴会はしないが、**個々に伸びていく可能性があり、発信力が出てくるので、**
若者に多く利用してほしい
- ・今ある会議室を有効に使いたい
- ・設備はプロジェクターはあるが、Wi-fiがない（追加のプロジェクターは旅館組合から貸出可）
- ・シングルユース対応は難しい（部屋はゆったりとして、程よく区切られた空間）

4、調査報告 熱海温泉【リゾートホテル】ホテルニューアカオ チーム 新・湯治 オフサイトミーティング

[ホテルニューアカオ] (熱海市)

○オフサイトミーティング (アウトドア) の状況



日程…1泊2日、 参加人数…30-40人、若年層

**<1日目> 昼頃に到着→午後からビーチに張ったいくつかの大きなテントでミーティング
→ハーブアンドローズガーデンにてバーベキューディナー→アカオホテル宿泊**

<2日目> ホテルで朝食後→テントで会議

- ポイント…
- ・敷地をうまく活用
 - ・ホテルに宿泊することを前提
 - ・会議室不足の打開策



○企業との連携への期待・課題

- ・熱海の街も含めた形で自然環境を使った、複合的な提案をしたい
- ・会議室の確保が課題だが、アウトドアミーティングなどの新しい取り組みで若年層を取り込んでいきたい

4、調査報告 竹田温泉群 長湯温泉【温泉旅館】丸長旅館 チーム 新・湯治 オフサイトミーティング

[丸長旅館]

- 特徴…第22回豊の国木造建築賞最優秀賞を受賞した、
明治建築の趣ある老舗旅館
- 部屋数…定員24名
- 稼働率…土日祝日と平日の稼働率にそれほど差がないが、
土曜日だからと安心してはられない状況。



○企業受け入れ実施状況

- ・業種や詳細は不明だが、東京と九州の会社で企業の開発などが目的だと推測
建設コンサルタントのような企業もあった
- ・2泊3日、10人ぐらいのグループ（旅館の定員は24名）
- ・どこかを視察されて、旅館内で会議
- ・会議の場所は、ロビーと隣の座敷を利用し、食事を兼ねたミーティングをしていた

○企業との連携への期待・課題

- ・シングルユース対応は難しい
- ・プロジェクターなどの備品は各旅館では無理
- ・宿泊は旅館、会議室は観光案内所の2階を使用するなど行政
との連携が必要
(団体旅館がないので、会議室を独自で用意している旅館はない)



【ジャパンフリトレー】

○オフサイトミーティングの内容

参加者…20名（マーケティング本部、営業、開発）

目的…良いアイデア出し、親睦を深める

スケジュール…

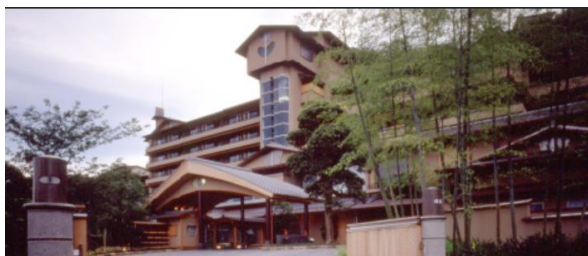
＜1日目＞朝、東京出発→昼前に到着→お弁当を食べながら会議→
17時半会議終了→温泉入りくつろぐ→宴会で親睦深める

＜2日目＞朝食後、8時から午前中いっぱい会議→解散



○オフサイトミーティングの成果

- ・オフサイトミーティングで出たアイデアをいくつか具体的に製品化検討中
- ・会議後は部屋で他部署の方々との交流、色々話して仲良くなり、その後仕事がやりやすくなった。
- ・一年に一回、子供を気にせず、色々な話ができる貴重な場
(子育て中の女性が多く、普段は仕事帰りに交流することができない)



[青山やまと]

○伊東温泉の高級旅館



4、調査報告 企業【セールスフォース】

チーム 新・湯治
サテライトオフィス&テレワーク

[セールスフォース]

○設立 2000年4月

○白浜オフィスができたきっかけ

- ・総務省のふるさとテレワークに参画したこと
- ・東京と同じように働けるのかを実証する目的
- ・社員のリフレッシュ
- ・地方活性化に貢献

○テレワーク実績

- ・白浜オフィス 2015年に開設
- ・白浜に来てテレワークを体験した方 まもなく100名

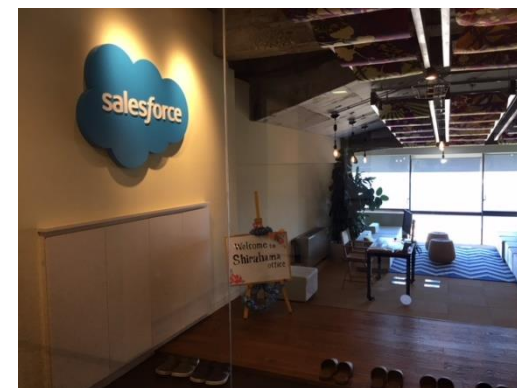
○生産性とその向上の理由

・東京に比べて白浜は20%生産性が高い

①通勤時間の削減

②一歩外に出ると自然があふれているためリフレッシュ、気分転換できる

③社会貢献活動支援目的による、業務へのポジティブな取り組み、
エンゲージメントの向上



[NECソリューションイノベータ 白浜センター]

○オープンイノベーション、横連携によるビジネス活動の活性化

- ・社内複数部署の連携による案件単位での活動
- ・NEC、地域・自治体とのパイプ役としての連携（顔認証実験）
- ・プロジェクトミーティングを白浜センターで開催
 - ー各事業部ラインのプロジェクトのリスク管理や進捗管理
 - ーITオフィス在籍の他会社の人事などと意見交換→現場改善に役立てる



○温泉地活用

- ・温泉地では、都会とは違い、ゆったり落ち着いて自由な発想をしたり、意見交換ができるため、人間関係の構築や新たな取り組みを考える等に効果的
- ・喘息の症状が軽減した白浜センター常駐社員



4、調査報告【企業】クオリティソフト テレワーク&本社移転

チーム 新・湯治

[クオリティソフト]

○事業内容

クラウドサービスとパッケージソフトウェア製品の開発及び販売業務
ドローンソリューション関連事業

○白浜に本社を移転

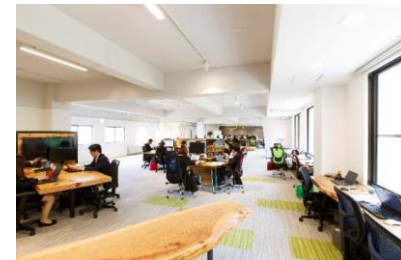
- ・ 2017年1月に本店所在地を東京から白浜に移転
- ・ IT産業が牽引して地方時代を作るという会社設立以来の目的
- ・ 和歌山県から世界を目指すソフトウェア会社としてしっかり認知され活躍する
- ・ 本店所在地を白浜町に移したことで南紀での雇用の創出と働きたい会社ナンバーワンを目指す

○オフィス

- ・ コンセプト「NATURE NOMAD OFFICE」
- ・ オフィスが自然と呼吸する働く人の「集中と分散」を実現するノマド空間
- ・ スチールデスクを一切使用しない天然の紀州木材を中心としたオフィス設計
- ・ 敷地5530坪。その中に白浜リサーチ・パーク(750坪)建物
白浜リサーチ・パークは南ウィングにクオリティソフト本社
北ウィングにイノベーション・オフィスを設けている
- ・ INNOVATION SPRINGSは、各種イベント・行事開催、ドローン教室を実施

○INNOVATION SPRINGSとは人々が集い、交流し、切磋琢磨できる空間

INNOVATION SPRINGSは南紀白浜を先進的な技術やイノベーションに溢れる土地にしたいと考えて、異業種交流の場として、南紀に人々が集い交流し、泉が湧き出るようにイノベーションがあふれる場にする。施設内は、宿泊施設、コワーキングスペース、セミナールームを完備。社員食堂の「くおり亭」は、社員の利用のみならず、地域の方への一般開放をしている



○ホテル・旅館にとってのメリット

- ・平日の稼働率アップ、閑散期の落ち込みを、企業研修でボトムアップ
- ・減少している団体客利用を、企業のまとまった人数の利用でカバー
- ・自社の「思わぬ強み」が、企業研修で発見でき、「弱み」も逆の発想で活かせる

○行政にとってのメリット

- ・土日の観光だけでなく、平日のにぎわい創出のための、企業との連携
- ・テレワークやワーケーションという、新しい魅力で温泉地を活性化
- ・温泉地での企業のCSR活動で、地域との新しい絆を構築する

○企業（人事部・IT部門・働き方改革担当）にとってのメリット

- ・温泉地のオフサイトミーティングが、オープンイノベーション機会になる
- ・温泉地で、経営者の方も含めた、一日テレワークのトライアル（試行）も効果あり
- ・ITの開発合宿が、温泉で頭と身体を休めながら、集中して行える
- ・Work & Vacationを組み合わせたワーケーションという、新しい働き方休み方ができる

**新しい価値
& 課題解決**

平日稼働率向上
創造力アップ
チームワーク
生産性向上

6、【温泉地×企業の連携スキーム】

チーム 新・湯治

チーム 新・湯治

● 企業側に、新しい利用形態を提案

NewStyle & 研修
オフサイトミーティング、テレワーク
ワーケーション、サテライトオフィス
コワーキングスペース
忘年会、イベント・展示会
報奨旅行、ヘルスツーリズム

● 企業側の目的を確認 = 成果

研修・IT開発合宿
コミュニケーション促進
テレワークの練習
健康経営、地域貢献 (CSR)
社会活動による人材育成

● 温泉地側は、受入れ・オフサイトプラン準備

旅館（和室）
ホテル（シングルユース）
会議室、宴会場（机、椅子）
コワーキングスペース

※ 閑散期・可能な範囲を明確に！

市町村施設
観光協会
温泉組合協力
レンタル、外注

● 行政の戦略・PR・支援

ワーケーション（白浜町）
テレワーク（長野県）
ヘルスツーリズム（竹田市）
まちづくりリノベーション（熱海市）
サテライトオフィス（徳島県神山町）

温 泉
《強み》

旅行代理店

温泉旅館組合

金融機関

建設
不動産会社

観光協会、DMO

地域（学校、商店街）

自己紹介

1. 2018年 「新・湯治」コンテンツ開発調査

○温泉地における、テレワーク（ワーケーション・オフサイトミーティング）実施の可能性

○コロナ禍により、テレワークの導入企業が急増 ⇒大きな変化！

2. 2019年度 コンテンツモデル調査

『温泉地×BusinessWoman&オープンイノベーション』

○新たな温泉地

3. 都会で働く現代人の知的リフレッシュにも応える温泉地のあり方

～Withコロナ時代を見据えて～



国立・国定公園、温泉地でのワーケーションの推進

令和2年度
第1次補正

- 新型コロナウイルスの流行以降、感染リスクの低いキャンプ場等の自然志向の高まりとテレワークの定着が進み、**ワーケーションの機運が高まっている。**
- ワーケーションを受け入れるための環境整備を行い、自然の中でクリエイティブに仕事を行うとともに、家族も安心して自然を満喫できる、**国立公園等で「遊び、働く」という新たなライフスタイルを示す。**
- ワーケーション推進に伴う**ロングステイとエコツアーの利用促進により、withコロナ時代の地域経済の下支えや平日の観光地の活性化を目指す。**

事業概要

① キャンプ場でのワーケーションの実施



キャンプ場での
ワーケーション



子供向け
プログラム

② 旅館等でのワーケーションの実施



南紀白浜（白浜町）



鉄輪温泉
（別府市）



鳴子温泉郷
（大崎市）

◆ 国立・国定公園、国民保養温泉地のキャンプ場・旅館・ホテル等の事業者、DMO、地域協議会等に対し、以下について支援する。

- ① ワーケーションツアー等の企画、実施
- ③ プロモーションの実施

- ② 子供向けプログラムの企画・実施
- ④ ワーケーションのためのWi-Fi等の環境整備



国立・国定公園、温泉地でのワークेशनの推進

令和2年度
第1次補正

- 新型コロナウイルスの流行以降、感染リスクの低いキャンプ場等の自然志向の高まりとテレワークの定着が進み、**ワークेशनの機運が高まっている。**
- ワークेशनを受け入れるための環境整備を行い、自然の中でクリエイティブに仕事を行うとともに、家族も安心して自然を満喫できる、**国立公園等で「遊び、働く」という新たなライフスタイルを示す。**
- ワークेशन推進に伴う**ロングステイとエコツアーの利用促進により、withコロナ時代の地域経済の下支えや平日の観光地の活性化を目指す。**

事業概要

① キャンプ場でのワークेशनの実施



キャンプ場での
ワークेशन



子供向け
プログラム

② 旅館等でのワークेशनの実施



南紀白浜（白浜町）



鉄輪温泉
（別府市）



鳴子温泉郷
（大崎市）

◆ 国立・国定公園、国民保養温泉地のキャンプ場・旅館・ホテル等の事業者、DMO、地域協議会等に対し、以下について支援する。

- ① ワークेशनツアー等の企画、実施
- ③ プロモーションの実施

- ② 子供向けプログラムの企画・実施
- ④ ワークेशनのためのWi-Fi等の環境整備

* 環境の良い場所、温泉のある場所は、生産性が高まり、発想が豊かになる

チーム 新・湯治

4、調査報告 【企業】ジャパンフリースペース

オフサイトミーティング

チーム新・湯治

○オフサイトミーティングの内容

参加者…20名（マーケティング本部、営業、開発）

目的…良いアイデア出し、親睦を深める

スケジュール…

<1日目> 朝、東京出発→昼前に到着→お弁当を食べながら会議→

17時半会議終了→温泉入りくつろぐ→宴会で親睦深める

<2日目> 朝食後、8時から午前中いっぱい会議→解散

【青山やまと】

○伊東温泉の高級旅館



○オフサイトミーティングの成果

・オフサイトミーティングで出たアイデアをいくつか具体的に製品化検討中

・会議後は部屋で他部署の方々との交流、色々話して仲良くなり、その後仕事がやりやすくなった。

・一年に一回、子供を気にせず、色々な話ができる貴重な場
(子育て中の女性が多く、普段は仕事帰りに交流することができない)



4、調査報告 熱海温泉【温泉旅館】三平荘

IT開発合宿

チーム新・湯治

○IT開発合宿の状況

日程…1泊2日、参加人数…17-18人

<1日目> チェックイン後、昼から夕方まで会議→18時に夕食→夜また会議

<2日目> 8時に朝食→9時から12時まで会議→チェックアウト



○企業との連携への期待・課題

- ・安定的な旅館経営のためにも、企業との連携を受け入れていきたい
- ・若者は宴会はしないが、個々に伸びていく可能性があり、発信力が出てくるので、若者に多く利用してほしい
- ・今ある会議室を有効にしたい
- ・設備はプロジェクターはあるが、Wi-Fiがない（追加のプロジェクターは旅館組合から貸出可）

・シングルユース対応は難しい（部屋はゆったりとして、程よく区切られた空間）

4、調査報告 企業【セールスフォース】テサテライトオフィス&レワーク

チーム新・湯治

【セールスフォース】

○設立 2000年4月

○白浜オフィスができたきっかけ

- ・総務省のふるさとテレワークに参画したこと
- ・東京と同じように働けるのかを実証する目的
- ・社員のリフレッシュ
- ・地方活性化に貢献

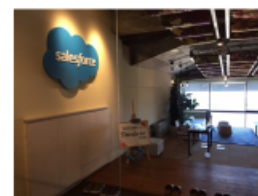
○テレワーク実績

- ・白浜オフィス 2015年に開設
- ・白浜に来てテレワークを体験した方 まもなく100名

○生産性とその向上の理由

- ・東京に比べて白浜は20%生産性が高い

- ①通勤時間の削減
- ②一歩外に出ると自然があふれているためリフレッシュ、気分転換できる
- ③社会貢献活動支援目的による、業務へのポジティブな取り組み、エンゲージメントの向上



4、調査報告 熱海温泉【リゾートホテル】ホテルニューアカオ

オフサイトミーティング

チーム新・湯治

○オフサイトミーティング（アウトドア）の状況

日程…1泊2日、参加人数…30-40人、若年層

- <1日目> 昼頃に到着→午後からビーチに張ったいくつかの大きなテントでミーティング→ハーブアンドローズガーデンにてバーベキューディナー→アカオホテル宿泊
- <2日目> ホテルで朝食後→テントで会議

- ポイント…
- ・敷地をうまく活用
 - ・ホテルに宿泊することを前提
 - ・会議室不足の打開策

○企業との連携への期待・課題

・熱海の街も含めた形で自然環境を使った、複合的な提案をしたい



職・機・食・泊のマッチングパターン

チーム 新・湯治

- 職** 職 = 仕事をする場所
- 機** 機 = オフィス機器、備品
- 食** 食 = 食事
- 泊** 泊 = 宿泊

バラバラに
モジュール化
(分解) して
みる！

✓ 求められる要素を、一つの施設ですべてを手配せずとも、

地域内で協力し合うことで、様々な規模、要望に応じた受入れも可能に。

5) 職・機・食・泊のマッチングパターン

職＝仕事をする場所 / 機＝オフィス機器、備品 / 食＝食事 / 泊＝宿泊

パターン1

●職・機・食・泊 の全てをホテル・旅館内で手配

パターン2

●職・機 を公共施設で手配
●食・泊 をホテル・旅館で手配

パターン3

●職・機 を公共施設で手配
●食 を食堂等で手配
●泊 をホテル・旅館で手配

パターン4

●職・機・泊 をホテル・旅館で手配
●食 を食堂等で手配

職	機	食	泊
職	機	食	泊
職	機	食	泊
職	機	泊	食

✓ 求められる要素を、一つの施設ですべてを手配せずとも、

地域内で協力し合うことで、様々な規模、要望に応じた受入れも可能に。

✓ ⇒コロナ禍で、このスキームを再度検討すれば！新たな道が開ける！！

自己紹介

1. 2018年 「新・湯治」コンテンツ開発調査

○温泉地における、テレワーク（ワーケーション・オフサイトミーティング）実施の可能性

○コロナ禍により、テレワークの導入企業が急増 ⇒大きな変化！

2、2019年度 コンテンツモデル調査

『温泉地×BusinessWoman&オープンイノベーション』

○温泉地・国立公園を、企業のオープンイノベーションの場に！

3. 都会で働く現代人の知的リフレッシュにも応える温泉地のあり方

～Withコロナ時代を見据えて～

チーム 新・湯治 

新・湯治コンテンツモデル調査

温泉地×

Business Woman&オープンイノベーション

実施報告書

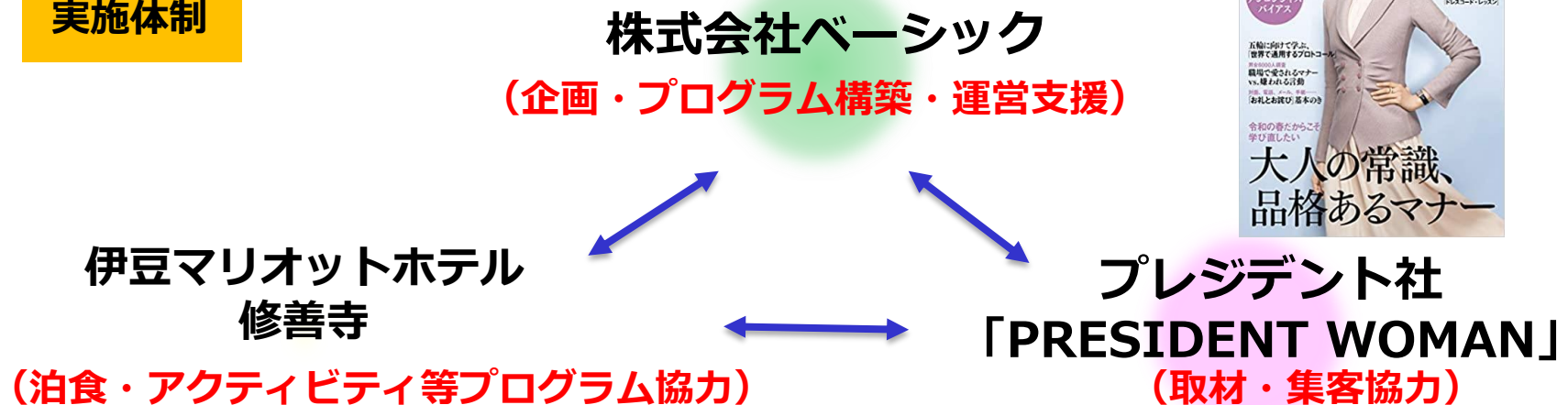
令和2年2月

株式会社ベーシック

コンテンツの概要

「PRESIDENT WOMAN」のメルマガ会員から希望者を募り、
修善寺温泉で1泊2日するプログラムで、
**新しい働き方であるテレワーク&ワーケーションを実践しながら、
成長を促進するためのディスカッション（「ダイバーシティ」「健康経営」等も含む）を実践した。**

実施体制



温泉地×BusinessWoman オープンイノベーション チーム 新・湯治

今回の取り組みにあたって

趣旨

温泉地は日常の喧騒から離れ、恵まれた環境や自然があるリフレッシュできる環境です。

温泉地という、心も体も開放的になるリフレッシュできる環境の中で、さまざまな企業の業種・部門の Business Womanたちが集い、温泉や自然と楽しみ、交流することで、思考の枠組みを外す、
オープンイノベーションミーティングです。

今、企業では、国策である女性活躍推進（女性管理職を2020年までに30%にする）を勧めており、女性リーダーの育成に注力しています。しかし、成果はまだ実現に届かぬ状態であり、解決する一つの策として、
今注目されている、他社と交流する“オープンイノベーション”の手法を取り入れます。PRESIDENTWOMAN

Nのご協力で女性リーダー（BusinessWoman）を募り、温泉地ならではの自然、
温泉によるリフレッシュ効果、独特の開放感、リラックス、新鮮な食という恵まれた環境の中で、リフレッシュしながら、

①オープンイノベーション（情報交換し、互いに向上を目指す）を目的としたディスカッション

②アクティビティ&リフレッシュプログラム

③テレワークのトライアル（推進）を実践するものです。

女性活躍推進 & ダイバーシティ

チーム 新・湯治

女性活躍推進法 ～働く女性の活躍を後押しする法律

施行：2016年4月 301名以上の企業は義務、以下は努力義務

背景：労働力不足、少子化による急速な人口・労働力減少

女性にもっと多く、長く、高い能力を発揮してほしい

女性管理職比率向上目標 2020年までに、30%

(10.9%)2017年 世界ランキング114位／144カ国中

■ 日本の女性活躍推進の現状（2019年）

・出産後の退職 46.9%

・非正規雇用者 56.6%

女性たちが、多く、長く、働き続けるためのソリューション



1つの解決法が

テレワーク&ワーケーション

ところが…、これまでは、なかなか進まなかったが

コロナ禍で急速導入！

テレワーク導入のメリット

チーム 新・湯治

・出産、育児等、ライフステージの変化

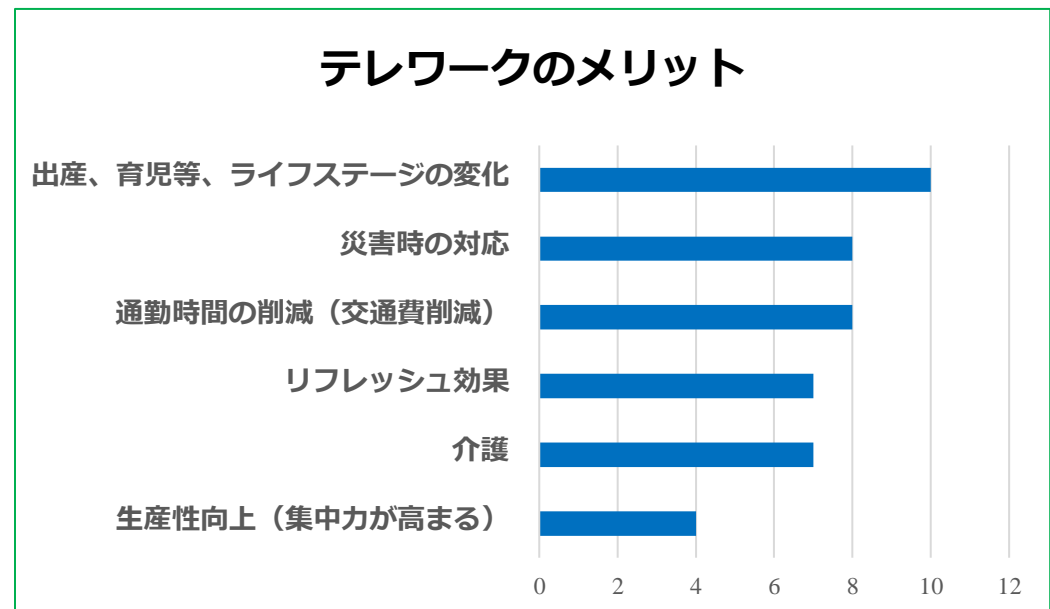
・介護

・通勤時間の削減（交通費削減）

・災害時の対応

＊生産性向上（集中力が高まる）例：ITベンダー

＊リフレッシュ効果



オープンイノベーションとは？

第1章 オープンイノベーション (OI) の定義と変遷

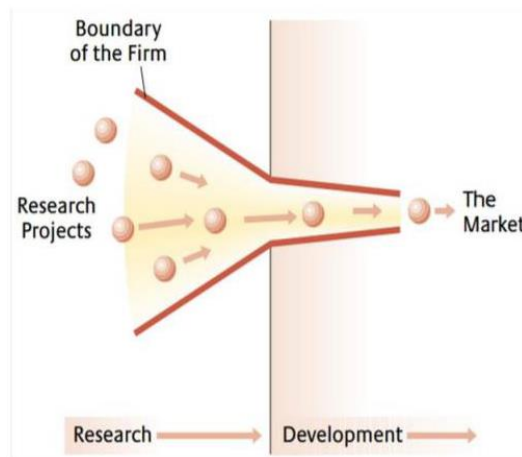
オープンイノベーションの定義

定義

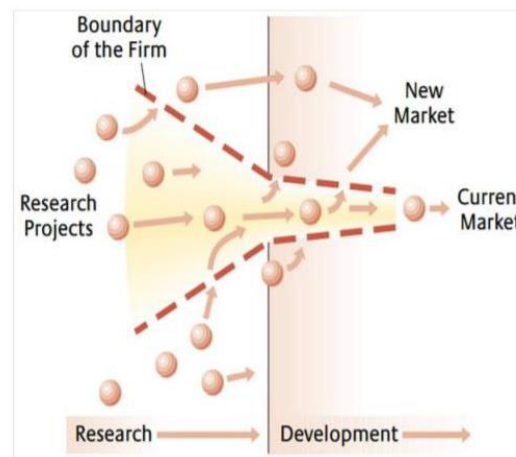
オープンイノベーションとは、

組織内部のイノベーションを促進するために、意図的かつ積極的に内部と外部の技術やアイデアなどの資源の流入を活用し、その結果組織内で創出したイノベーションを組織外に展開する市場機会を増やすことである

(Henry W. Chesbrough, 著書『Open Innovation』(2003年))



クローズドイノベーション



オープンイノベーション

目的 1

温泉地でテレワーク&ワーケーションに

取り組むメリットを理解して社内で進めてもらう

温泉地

観光
自然資源
おいしい食材
地域活性化



企業

健康経営
働き方改革
生産性向上
ワークライフバランス
(シナジー)



新しい価値 & 課題解決

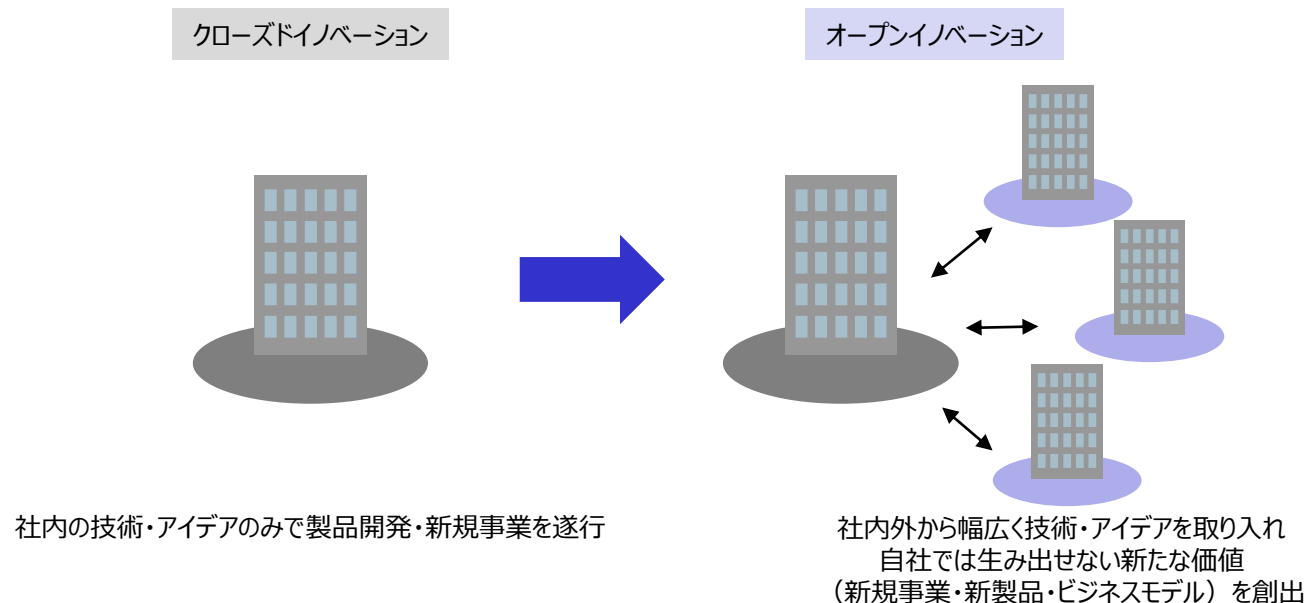
平日稼働率向上
創造力アップ
チームワーク
生産性向上

目的 2

(女性たちが) オープンイノベーションを温泉地で行うことで、
地域や、企業間の、交流促進と

「温泉地×BusinessWoman」スキームの

新たな活路を見出し、成果を上げ、企業に提案する



2日間のタイムスケジュール

12月14・15日（土・日）

チーム 新・湯治

○12月14日（土）

15:05～ 伊豆市長挨拶

15:20～ 参加者の自己紹介（今回のミーティングに期待するものもお話いただく）

15:40～ 今回の企画趣旨と1日目のテーマ「働き方改革を成功させるために」～
「テレワーク&働き方改革」

・サブテーマ1「より自由な働き方を実現するため、私たちができること」

・サブテーマ2、「幸せな女性リーダーを増やすためにはどうすればよいか」

クロージング ＊自分でできること、会社でできること、社会でできること まとめ

19:00～ 食事（ハーフブッフェ、地元食材、料理の説明）

○12月15日（日）

7:00～8:00 アクティビティ（温泉スパリラクゼーション）

9:30～ ベーシック田原より、昨日のふり返り

女性の強み（一般論）、社会で力を発揮する際の注意ポイント

・メインテーマ 社会を変える！「新ビジネス案」&女性管理職を増やすために

1、自分の強み出し、2、自社の強み出し、3、社会課題の抽出 4、オープンイノベーションスクランブル

11:00～ 発表

12:00 解散



参加者のみなさまがホテルに集合
ウェルカムドリンクをいただきます！



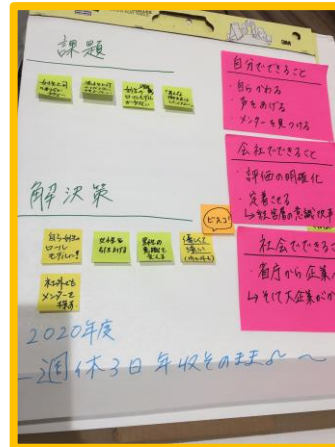
美味しそうな御馳走がずらり！



参加者のみなさま



興味あるテーマで、活発な意見交換が展開！



ポストイットで課題や解決策を
まとめていきます

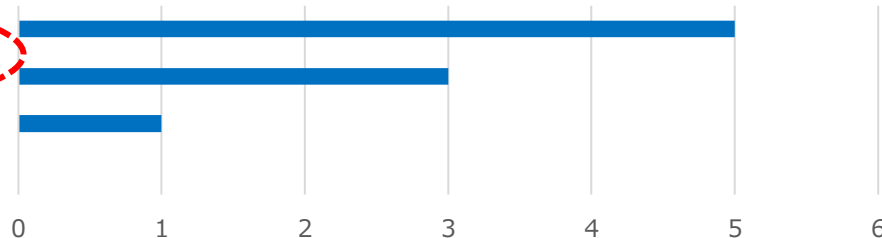


温泉スパリラクゼーションの様子

「テレワーク＆働き方改革」

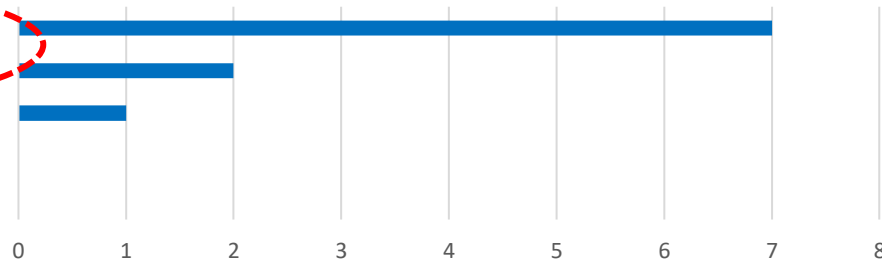
サブテーマ1「より自由な働き方を実現するため、私たちができること」について

すでに自社で取り入れているが、うまく稼働していない
個人的にはとても興味があるが、自社に取り入れるのは難しい
~~すでに自社で取り入れているが、うまく稼働していない~~
個人的にもあまり興味がない内容だった



サブテーマ2「幸せな女性リーダーを増やすためにはどうすればよいか」について

興味がある内容だったので、自社でも取り組んでみたいと思う
すでに自社で取り入れているが、うまく稼働していない
~~すでに自社で取り入れているが、うまく稼働していない~~
個人的にはとても興味があるが、自社に取り入れるのは難しい
個人的にもあまり興味がない内容だった



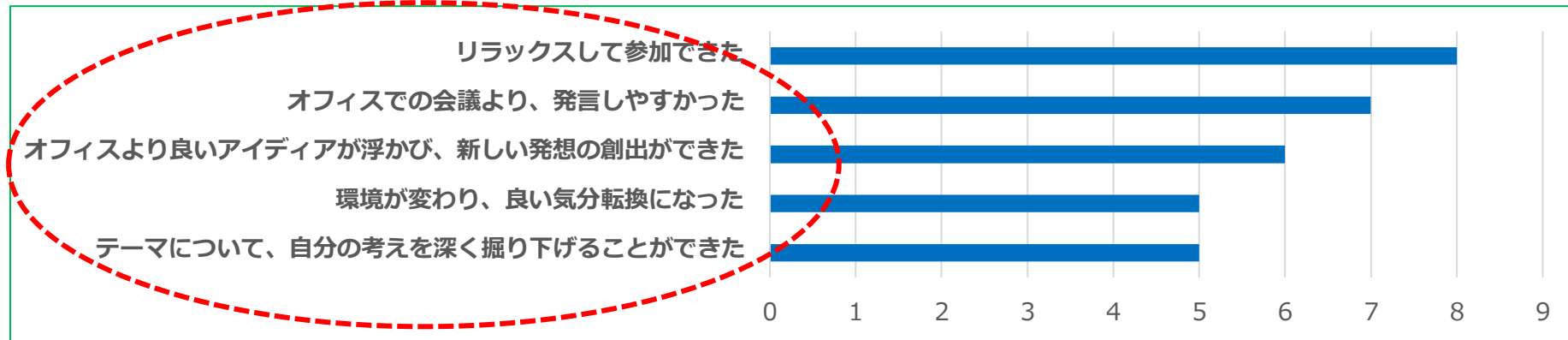
【アンケート結果の分析】

- ✓ テレワークの制度が既にある会社は多いが、現実としては制度の導入、運用にあたり、セキュリティの問題など様々な課題があり、克服しなければならないことが多いことがうかがえる。
- ✓ テレワークのメリットを感じているため、時間はかかっても前向きに取り入れていこうという姿勢が見られる。

得られた成果、効果

チーム 新・湯治

「温泉地ミーティング」のようなオフサイトでのディスカッションやグループミーティングは、オフィスでのディスカッションや会議に比べてどのようなメリットがあったか？



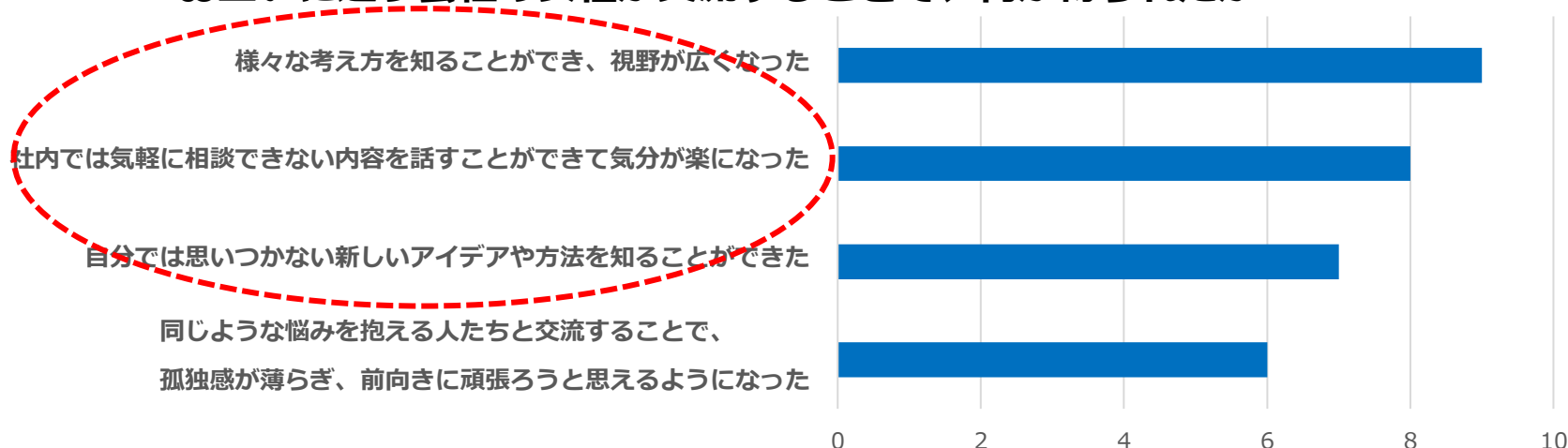
【その他・ご意見】

- 環境を変えることで気持ちがりセットされていろんな意見を吸収できた。
- いつもより集中しやすい気がした。
- テーブルの配置も変則的になっていて良かった。
- 特に違う環境でのオフサイトミーティングは、オン・オフの切り替えが素早く出来るのが大変有益だと感じた。
- 集中できた。
- メンバーと親しみやすく、すぐに仲良くなれた。

【アンケート結果の分析】

- ✓ ディスカッション等をオフサイトで行うことにより、環境が変わり、いつもよりリラックスして参加できた方が多数いた。
- ✓ オフィスでのミーティングより、発言がしやすく、アイデアも浮かびやすく、集中して討論できるようである。
- ✓ また気持ちがりセットされるため、他人の意見も吸収しやすく、初対面のメンバーであっても親しみやすいようである。
- ✓ 工夫されたテーブルの配置なども、発言のしやすさに関係している様である。

お互いに違う会社の女性が交流することで、何か得られたか？



【その他・ご意見】

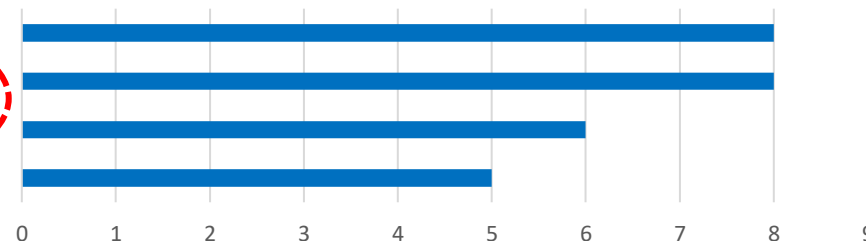
- 業種が違って共通の課題に取り組むことで、様々な意見出しができるので会話の質が上がったように感じられた。
- 1人の女性として見習いたい、追いつきたいというモチベーションをもらった。
- このような機会が少ないので、とても良い刺激になった。
- 新しい友達が増えた。
- 異業種や世代間の理解が深まった。世の中には色々な仕事や職種、そして多様な人材がいることを実感した。
- 普段出会えない方たちと出会えて、ディスカッションできて、充実感があつた。

【アンケート結果の分析】

- ✓ 違う業種や会社の女性たちが交流することで、お互いに良い刺激を受けていることが読み取れる。
- ✓ 仕事や職種、人材の多様性に気付き、異業種や世代間の相互理解が深まったようだ。
- ✓ 新しい人脈ができ、女性として見習いたいロールモデルが見つかったり、モチベーション、充実感を得たようである。

温泉自体の効果について、どのような良い影響を感じましたか？

疲れが取れ、体が温まる（冷えの解消）、体へのリフレッシュ効果
気持ちが前向きになれる、心のリフレッシュ効果
美味しく食事ができる食欲増進効果
睡眠の質の向上



【その他・ご意見】

- 隙間時間に自分で出来るケアを取り入れていこうと思った。
- とても早足で食事をしているような感じだった。他の方のペースもあると思うが、もう少しゆっくり時間をかけて食事をしたかった。
- 普段の環境から離れることで精神的に開放感が得られると思う。温泉は身体的にもリラックスできるものなので相乗効果があったと感じた。
- 日常の忙しさの中で、なかなか深く集中して仕事の大きな流れなどを考える機会がないので温泉でぼーっとしながら、長期的なヴィジョンをイメージするのはとても良い機会になった。
- 都会から離れて、リラックスした環境の中で頭がクリアになり、気持ちも前向き、良いことづくめだと感じた。

【アンケート結果の分析】

- ✓ 温泉自体の効果は多くのメンバーが実感しており、心身共にリフレッシュ効果が高いことが分かる。
- ✓ また食欲も増進し、睡眠にも良い影響が出ているようだ。
- ✓ 温泉自体の健康増進効果が非常に高いことが分析できる。

今回のモデル調査によって、新たに得られた気づきと、今後の展開について

○「女性活躍推進」をテーマに、「女性活躍推進を支援するマスメディア」や、女性が活躍し、賛同している温泉宿泊施設とコラボレーションすることで、一般的な「リフレッシュ効果」「気分転換」という温泉地や自然環境効果に加えて、**別途、すぐにビジネスやプライベートに活用できる、気づきや意識変革が、大きな成果としてあがった。**

○1社でなく、**オープンイノベーション**で、他社他業種の方々が集まったことも、思考が広がるという成果に繋がった。

○今後は、女性活躍推進というテーマだけでなく、その他のテーマ、マネジメント層のBusinessパーソンの意識変革、等いろいろと考えられる。

○自治体が中心となって、企業を集客し、実施して交流を図る等、バリエーションも多く考えられる。

⇒**コロナ禍にて、自治体や温泉地が中心となって、テレワーク形式で、交流を図ってもよい！**

自己紹介

1. 2018年 「新・湯治」コンテンツ開発調査

○温泉地における、テレワーク（ワーケーション・オフサイトミーティング）実施の可能性

○コロナ禍により、テレワークの導入企業が急増 ⇒大きな変化！

2. 2019年度 コンテンツモデル調査

『温泉地×BusinessWoman&オープンイノベーション』

○新たな温泉地の活用効果

3. 都会で働く現代人の知的リフレッシュにも応える温泉地のあり方

～Withコロナ時代を見据えて～

①【新たなポテンシャル（可能性）を見出だす！】

○変化している、ワーケーションに求められる条件

【Before】 × ⇒ 【After】 ○

- ・都心から、2時間以内が目安 ⇒ 離れていても、Wi-fi環境が整っていれば、仕事ができる
- ・会議室がないのでミーティングできない ⇒ 天気がよければ外でOK、or 各自個室でWeb会議
- ・社員がリフレッシュできる環境はNG ⇒ 温泉と、国立公園の、自然の恵み
- ・テレワークでメンタルケアが必要？ ⇒ 温泉でゆっくり、リフレッシュ効果
- ・休みを取りすぎるイメージがある ⇒ これからは、人事も制度も大きく変わる（ジョブ型導入）

○デメリットは、メリットにも転換できる

【Before】 × ⇒ 【After】 ○

- ・気密がよくない、昔ながらの旅館 ⇒ 空気がいつも入れ替わっている
- ・Wi-fiがつかない ⇒ 熟考型の会議、重要会議、籠って実施する内容の会議
- ・何も魅力が無いように感じる ⇒ 企業・地域と一緒に、オープンイノベーションで魅力を作る

②【滞在スキームの再検討】

2018年に構築したモデル⇒2020年型へ転換

職・機・食・泊のマッチングパターン

⇒選択と集中

職＝仕事をする場所 / 機＝オフィス機器、備品 / 食＝食事 / 泊＝宿泊

パターン1

- 職・機・食・泊 の全てをホテル・旅館内で手配

職	機	食	泊
職	機	食	泊
職	機	食	泊
職	機	泊	食

パターン2

- 職・機 を公共施設で手配
- 食・泊 をホテル・旅館で手配

パターン3

- 職・機 を公共施設で手配
- 食 を食堂等で手配
- 泊 をホテル・旅館で手配

パターン4

- 職・機・泊 をホテル・旅館で手配
- 食 を食堂等で手配

コロナ対策を加える

⇒コロナ禍で、このスキームを、自社に合わせて、再度検討すれば！

新たな道が開ける！！

②【滞在スキームの再検討】

2018年に構築したモデル⇒2020年型へ転換

職・機・食・泊のマッチングパターン

⇒**選択と集中**

- 職** 職 = 仕事をする場所
- 機** 機 = オフィス機器、備品
- 食** 食 = 食事
- 泊** 泊 = 宿泊

バラバラに
モジュール化
(分解) してみる！

テイクアウト
得意なもの
ノウハウ
WEB活用
SNS

⇒コロナ禍で、このスキームを、自社に合わせて、再度検討すれば！

新たな道が開ける！！

③【新たな時代を迎える、今こそ！

オープンイノベーション&ビジネスモデルの転換を！】

“Development in our sense is then defined
by the carrying out of **new combinations.**”

(シュンペーター 1934)

イノベーションの本質：
知と知の組み合わせ＝新結合

※今すでにある、強みを、新しい手法や考え方で実行！

～第6回 チーム 新・湯治セミナー～

チーム 新・湯治

現代人の生活に“寄り添う温泉”とは
～健康の維持・増進の観点から温泉地の可能性を考える～

都会で働く現代人の知的リフレッシュにも応える
温泉地のあり方
～Withコロナ時代を見据えて～

株式会社ベーシック 代表取締役

学校法人 先端教育機構 社会情報大学院大学 先端教育研究所

客員教授 田原祐子

令和2年8月26日